

(リスクアセスメント) 路床・舗装打換工 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和7年4月28日	2tトラック、2t又は3tダンプ、4t又は7tユニック 連絡車	コンプレッサー、ブレーカー、チッパー 1t振動ローラー、プレート60kg、プロアー Asカッター、スプレイヤー、ガス、バーナー	ヘルメット、防振手袋、安全靴、安全チョッキ 保護メガネ、マスク、耳栓、防護ネット しらすんだー受信機、消火器	加熱合材・乳剤・スラブボンド・クラックシーラ(SDS) Jテープ・白線マーカ
改訂日					
作成者	永井	運転免許(普通、準中型)			作業人員 7名
必要資格等					作業人員 7名
備考	※飛散防止ネット使用時は、2名以上の専属保持者に使用現場のAs取り壊し場所を囲い、ネット使用後は通行帯から離れた位置へ2名以上で保持したまま移動させ、折り畳み収納する。 ①風が強いと判断した際は、飛散防止ネットの足元のフラットプレートを広げ土嚢設置し飛散防止の固定補助を行う。 ②飛散の多いコンクリート構造物の斫の場合は、養生ネットを側面以外に天端部分にネットを覆いかぶせる対応する。				その他 埋設協議を行ってから作業する 移動式クレーン作業計画書に基づきクレーン作業を行う。

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が			対策後			参考図(写真等)
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価			
準備工		作業前ミーティング												【セーフティーバイブル】 ・全体編【WH-16】ケーブル防護対策 ・作業編【WO-11】飛石飛散防止用具(飛散防止網) ・作業編【WO-12】ブレーカー等高圧ホース連結
	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	職長	1	2	2			
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行い記録する	職長	1	1	1			
	3	服装、保安用具の点検をする	自発光チョッキの球切れ、しらすんだーの音が鳴らない	2	1	2	全員で点検を実施する	全員	1	1	1			
	4	機械・工具等の点検をする	機械、工具が現場にて稼働しない	2	1	2	作業前点検を行い、機械、工具の点検をする	全員	1	1	1			
	5	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する	全員	1	1	1			
	6	作業手順の確認をする	各自の作業が分からず、現場で不安全行動を起こす	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	2	2			
	7	規制協議書の確認	協議書通りの規制でない	2	2	4	規制作業内容の確認	全員	1	2	2			
	8	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スベアタイヤ、敷板の落下	2	2	4	指差呼称と触手による車両点検と物理的落下処置をする	全員	1	2	2			
移動		現場への移動												
		交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2			
	1	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1			
	2	規制進入時は保安員の指示で進入する	一般車の追突、規制内への誤進入	3	1	3	保安員は適切な誘導を行う	保安員	1	1	1			
	3	規制内に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	2	6	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	全員	1	2	2			
	4	規制内での移動	車両同士、または作業員との接触	2	2	4	車両移動は周囲の安全を十分に確認する	運転手	1	2	2			
	5			2	2	4	保安員は運転手から見える場所で誘導を行う	保安員	1	2	2			
本作業		共通作業												
		適切な保護具の着用	保護具未装着によるケガ	1	2	2	適切な保護具の着用確認	全員	1	2	2			
		職長は、安全管理に心がける	作業員の不安全行動	1	1	1	職長は作業より、安全管理・仕上げ具合に留意する	職長	1	1	1			
	1	カッター、ハツリ工	埋設物、路温計、トカンの事前確認											
	2	作業範囲をマーキングする	一般通行帯に背を向けて作業を行う	2	2	4	万が一の場合の退避場所、方向の確認	作業員	1	2	2			
	3	マーキングに沿って所定の深さで舗装を切断する	センターライン付近の作業は、一般車に注意する	2	2	4	工事用掃除機の使用、ネット等により飛散防止を行う	作業員	2	1	2			
	4	損傷箇所の舗装を研り機を使用し取壊し積込む	ハツリガラ飛散による事故	3	2	6	ネット等で飛散防止を確実に設置する(2名以上で保持)	全員	2	1	2			
	5	バックホウを用いて、施工予定分掘削を行う	バックホウの作業範囲に人が近づかないよう注意											
			ケーブルや埋設物等に注意											
	6	最下層へ排水用の有孔管を設置し、埋戻しを行う												
	7	舗装工												
	8	清掃後、スプレイヤーにて乳剤の塗布を行う	散布時に作業箇所以外に飛散し、第三者被害	1	2	2	風向き、養生の確認を行う	作業員	1	1	1			
	9	加熱合材を敷きならす	走行車線上にはみ出し、一般車と接触する	3	3	9	監視員を配置し、合図に従い作業する	作業員	1	2	2			
	10	転圧機の取り扱いには、特に注意する	機械と作業員および車線への飛出しによる接触事故	2	3	6	周囲の確認・本線に正対し、保安員による合図の徹底	作業員	2	1	2			
片付け		片付け												
	1	清掃	ゴミが目に入る	2	1	2	保護メガネ、フェイスシールドを使用する	作業員	1	1	1			
	2	片付け	作業車の荷の落下	2	2	4	車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく	全員	1	2	2			
				2	2	4	ロープがけは必ず車線と反対側から行う	全員	1	2	2			
	3	車両の離脱	一般車両との接触	2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う	運転者	1	2	2			
				2	2	4	保安員は運転手から見える位置に立つ	保安員	1	2	2			